



ビューティヘルスラボ Maria

地域に根ざした ヘルスラボ

(株)ビューティヘルスラボMaria 大阪大学大学院医学系研究科 高橋 愛

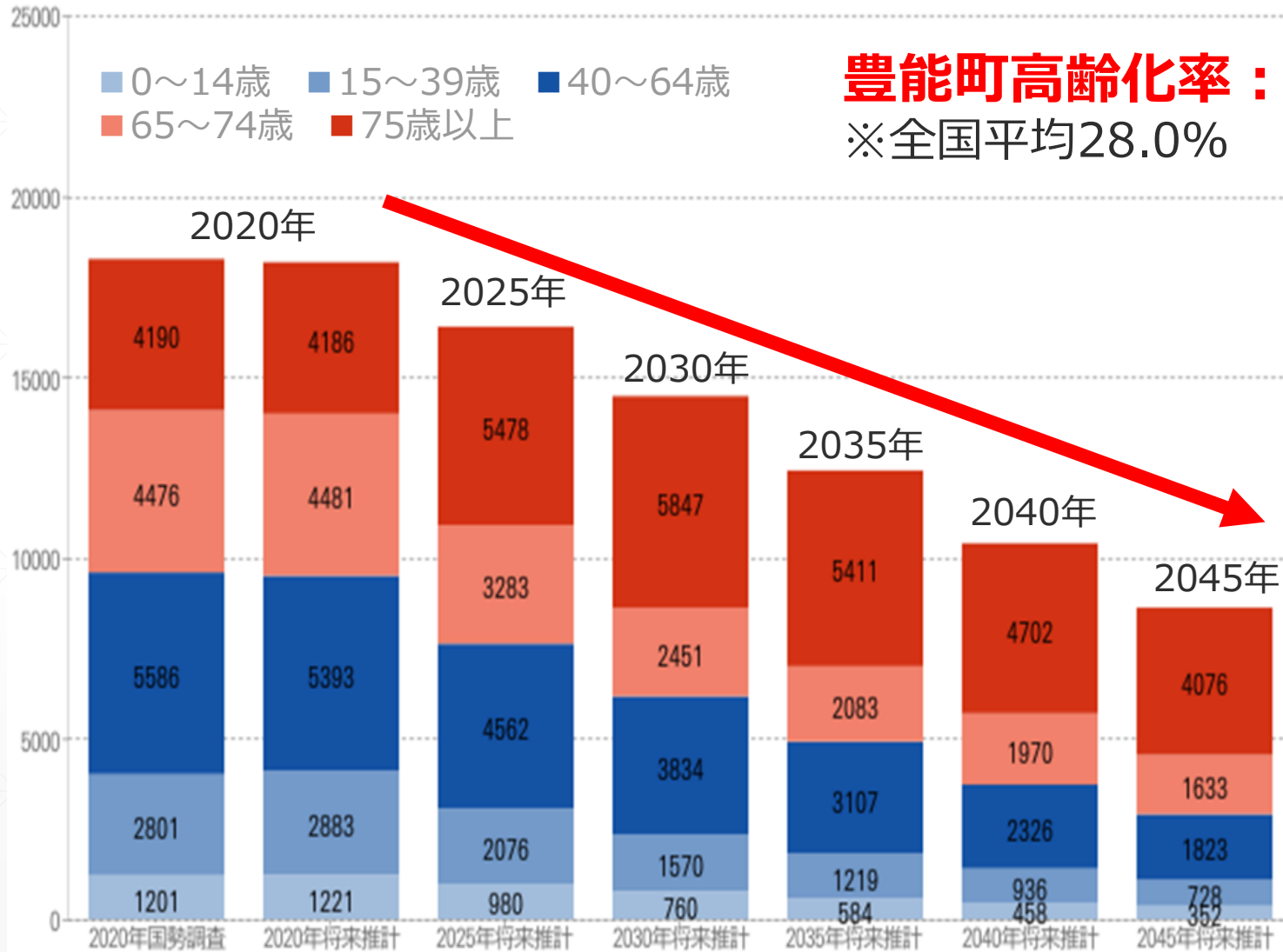


ビューティヘルスラボ Maria

豊能町 地域診断

豊能町における将来推計人口

豊能町高齢化率：47.4%
※全国平均28.0%

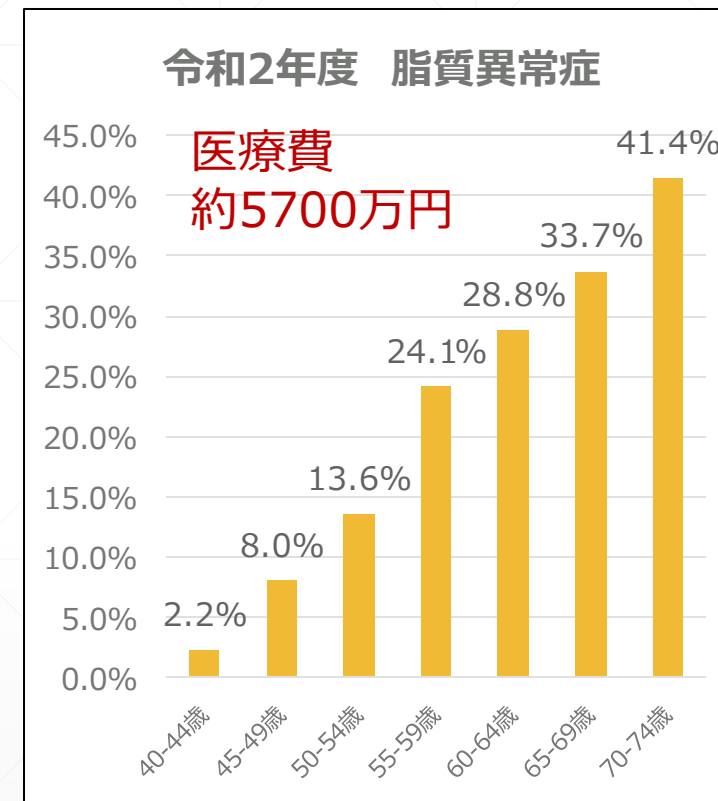
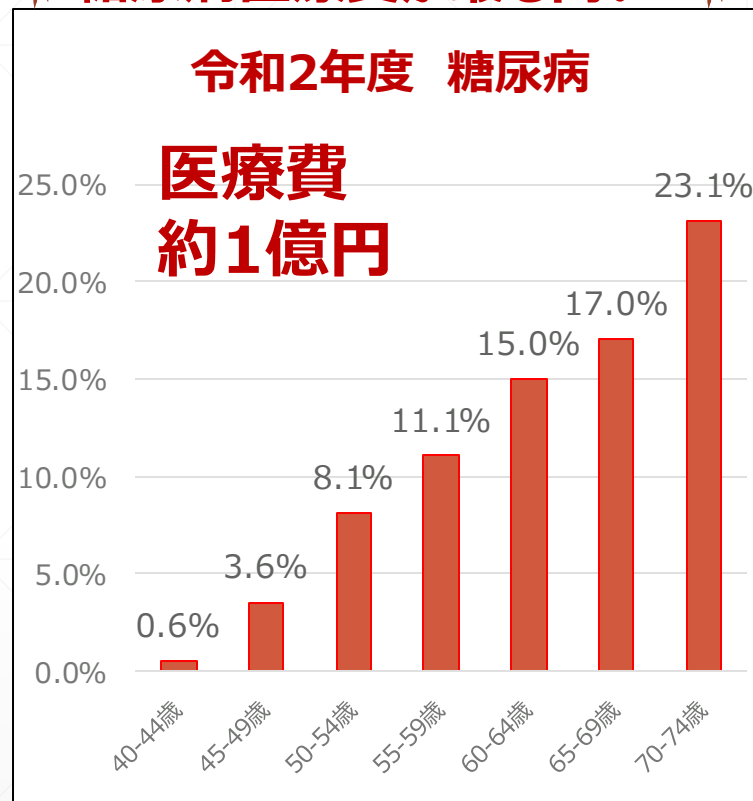
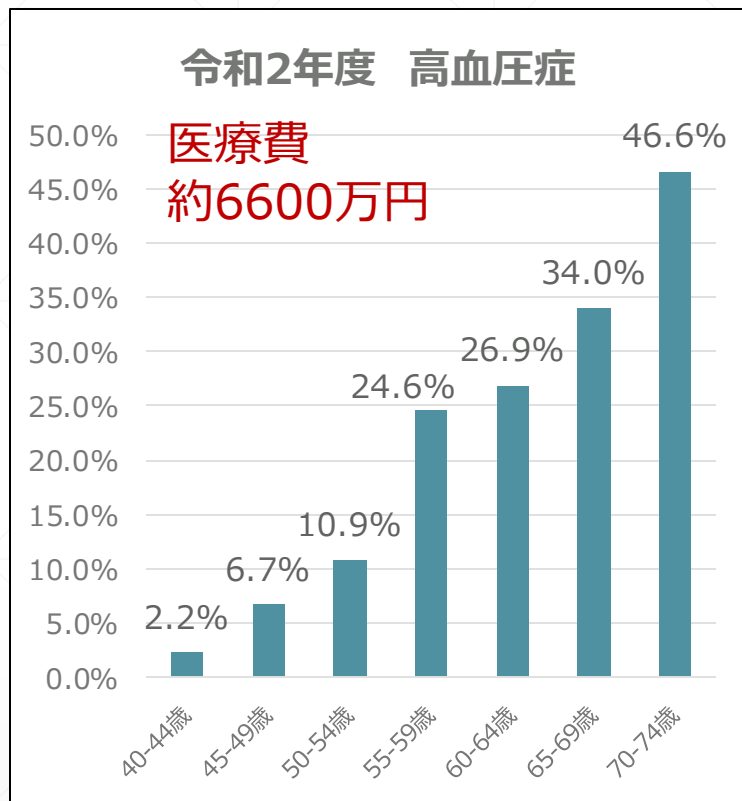


背景

コロナ禍において「ステイホーム」が推奨され、その世帯構成や生活構造で在宅で孤立されているケースがある。民生委員児童委員協議会や地区福祉委員等にて、それぞれの活動の中で高齢者へのアプローチが実践されている。また、包括支援センターでも健康状況、介護への不安や認知症への相談等々が寄せられており、どんな状況になっても対応できる日常から健康や介護についての備えが必要となっている。

豊能町における生活習慣病医療費（R2年度）

🌟糖尿病医療費が最も高い！🌟



♠ 年齢が上がるごとに生活習慣病治療は増加している。

♠ 高血圧症・糖尿病・脂質異常症など生活習慣病医療費は総医療費の約2割を占めている。

予防可能例！



豊能町の喫緊の課題

- 超高齢化に対応する【医療と介護と保健の連携】
- 介護予防・重症化予防と健康寿命延伸
- 医療費の適正化→超高齢化による将来医療費増大
- 住み慣れた豊能町で安心・安全にいつまでも暮らす
- 若い世代の定住



全世代対応型ヘルスケアシステムの構築



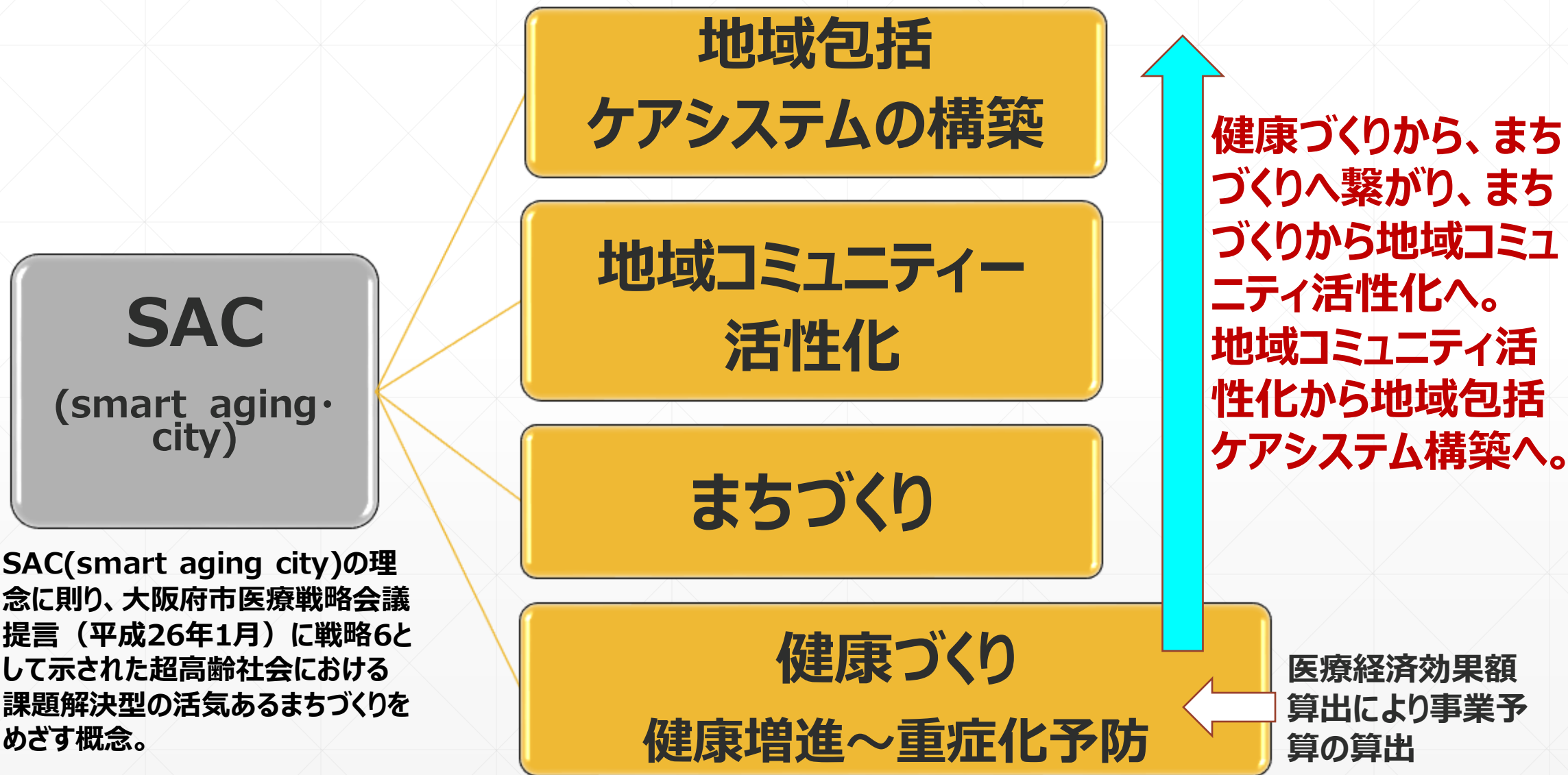
スマートシティにおける ヘルスケアの考え方



健康づくりから始まる
まちづくり



SAC (smart aging・city) の概念に基づく 豊能町まちづくり構築の基本的な考え方





★産官学連携事業イメージ

大学と連携してエビデンススペースでの事業企画・効果検証が可能

大阪大学
(株)ビューティヘルスラボMaria

Collaboration

解決策

課題

AI解析による科学的保健指導の提供、伴走型事業支援、医療経済効果額の算出、効果的・効率的なヘルスケア

豊能町

特定保健指導実施率アップ、糖尿病重症化予防プログラム、高齢者保健事業と介護予防の一体実施の効果的な実施

伴走型事業支援による連携支援

大阪大学・(株)ビューティヘルスラボMariaとの連携による事業の実施

栄養ケアチーム
豊能・こもれび
相談室等

- ★伴走型事業支援の提供（管理栄養士・保健師等への研修）
- ★事業の企画・運営のコンサルテーション
- ★新たなメニューの開発協力

成果にコミット！

- 科学的保健指導で行動変容を促進
- 保健指導終了後の行動変容支援継続プログラムにより成果の維持・継続が可能
- フレイル／認知症予防コンテンツの開発と提供

- 医療経済効果額の算出により、健康投資へのモチベーションアップ
- 大学との連携により、事業効果分析とエビデンス化、効果額を含めた成果指標設定が可能

AI解析による科学的保健指導の開発、生活習慣病予防から重症化予防・介護予防まで、一気通貫ヘルスケアシステムの構築



データ利活用型スマートシティ推進事業

スマートシティとスマートエイジング・シティ



①	行政・大学・各ステークホルダー間連携により、効率的な事業が展開できる
②	「デジタル」をベースとした住民のQOL向上と利便性の向上が実現可能
③	コンパクトスマートシティ プラットフォームにより、安心・安全なまちづくりと住民の健康寿命延伸をめざす



ビューティヘルスラボ Maria

2021年度 豊能町ヘルスラボ 取組み



ヘルスラボとは・・・

ハイリスクアプローチ

と

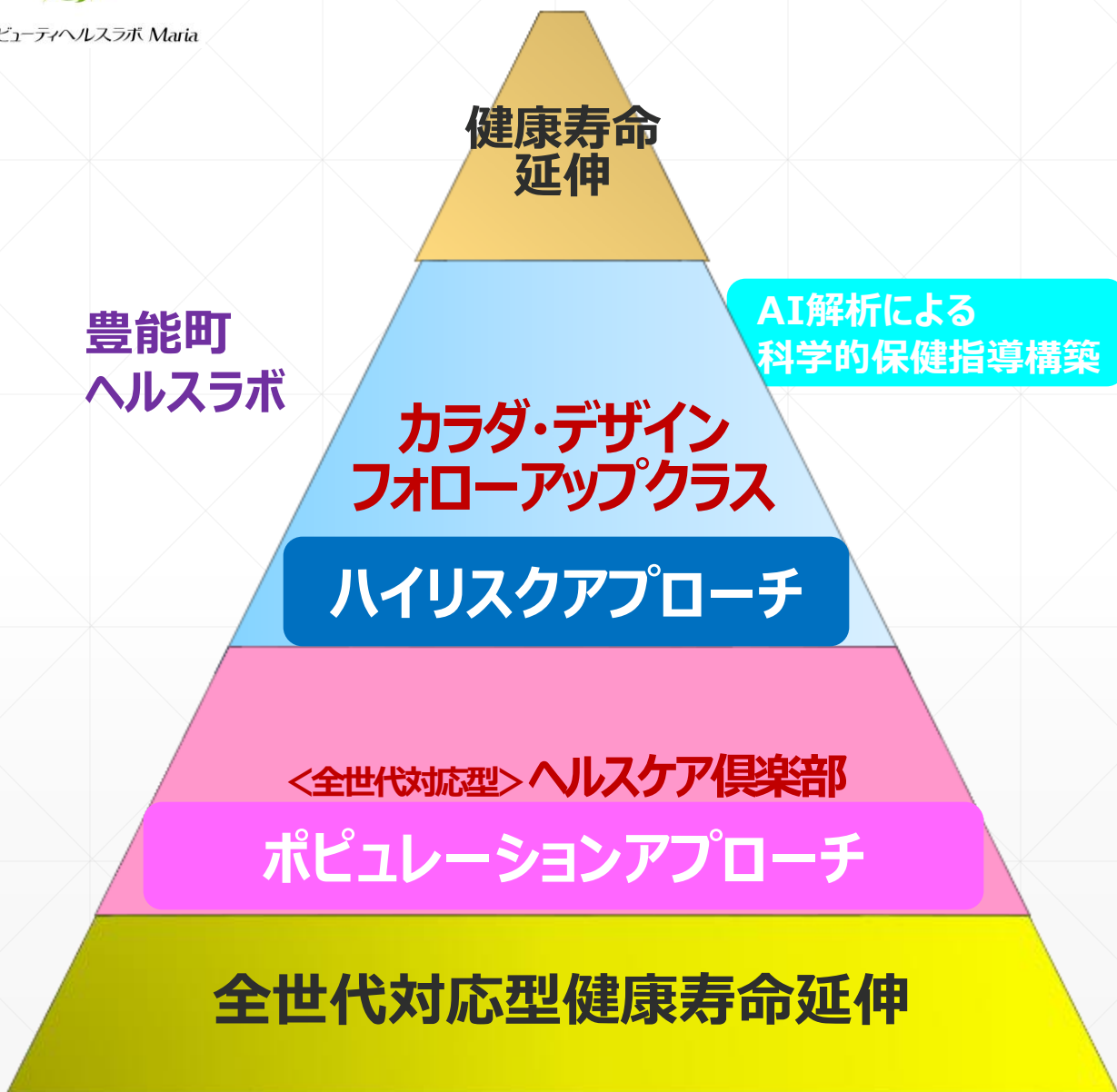
ポピュレーションアプローチ

が融合したヘルスケア拠点



2021年度 豊能町ヘルスラボ 全体構想

豊能町
ヘルスラボ



カラダ・デザイン フォローアップクラス

糖尿病重症化予防のフォローアップをメインとして、楽しく「学び」「遊び」「動く」「食べる」をテーマにした、ハイリスクアプローチ。卒業後はヘルスラボへつなぎコンテンツを継続。

全世代対応型ヘルスケア倶楽部

全世代を対象とした、ポピュレーションアプローチを地域のステークホルダー・産業界との連携により町民のヘルスリテラシーを向上し、個別健康の最大化と、町民全体の健康指標の底上げを狙う地域のヘルスケア拠点。

大阪大学×栄養ケアチーム豊能×こもれび相談室等のコラボレーションによるヘルスケアmethodを展開。

ヘルスラボはフォローアップクラス修了者（ハイリスク者）や全町民（健康増進）を対象に【食・動・遊・楽・学】をテーマに、認知症・フレイル予防・生活習慣病予防などカラダのトータルケアを継続！



2021年度 豊能町 ヘルスラボメニュー

2021年度CSPFC
事業

1. カラダ・デザイン フォローアップクラス

糖尿病性腎症重症化予防フォローアップ プログラム

ハイリスク
アプローチ

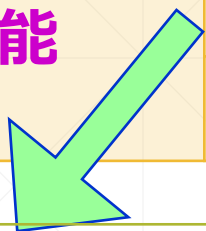
2. ヘルスケア 倶楽部豊能

①ヘルスアップ

②フレイル・認知症予防

③人生100年時代を生ききるために知っておくこと

ポピュレーション
アプローチ



①ヘルスアップ

食・デザイン倶楽部

体操倶楽部、健美操

②フレイル・認知症予防

手作り倶楽部

脳トレ倶楽部

③人生100年時代を生ききるために
知っておくこと

人生100年倶楽部・安心できるくらしのセミナー



2021年度 CSPFCにおける ヘルスラボメニュー

1. カラダ・デザイン フォローアップクラス

糖尿病性腎症重症化予防
フォローアップ プログラム

ハイリスク
アプローチ



2021年度スマートシティ（CSPFC）では、糖尿病性腎症重症化予防フォローアップクラス対象者に、**オンライン保健指導とスマートバンド**を装着し、データ連携を実施。

サービス実施・システムの実装と豊能町現課との関係

※スマートシティ（CSPFC）

ヘルスラボ

ポピュレーションアプローチ

保険課

<事業名>

- ①体操倶楽部②食・デザイン倶楽部
- ③脳トレ倶楽部④手作り倶楽部
- ⑤人生100年倶楽部
- ⑥豊能町健康寿命延伸フェスティバル

<ステークホルダー>

- ①こもれび相談室
- ②栄養ケアチーム豊能
- ③タカラジェンヌOG

<統括>
大阪大学
ヘルスケア分科会

ハイリスクアプローチ

保険課
まちづくり創造課

<事業名>

カラダ・デザインフォロー
アップクラス

<ステークホルダー>
栄養ケアチーム豊能

<手法>

- ①ウェアラブルによるセルフモニタリング②オンライン保健指導③AI解析による科学的保健指導④特定健康診査データ分析

<ステークホルダー>
GB社、EMC、Maria社

2021年度スマートシティ ステークホルダー

	参加機関	担当領域
豊能町スマートシティプロジェクト・ヘルスケア分科会	大阪大学大学院ヘルスプロモーション科学講座	豊能町保健事業・保健指導の構成（ヘルスラボ企画・構成） 科学的保健指導の構築、効果検証
	GreenBioanalytics	AI解析、特定健康診査データ分析
	イーグルマトリックス（EMC）	GreenBioanalyticsと共同で特定健康診断データサーバー改修、オンライン保健指導（VIVEO）
	(株)ビューティヘルスラボMaria	豊能町保険課保健事業の企画・運営
	三井住友海上	スマートシティヘルスケア分科会リーダー
ヘルスラボ・ステークホルダー	特定非営利活動法人 こもれば相談室	保健事業・保健指導（栄養面以外）の直接的な住民向けサービス
	（一社）栄養ケアチーム豊能	保健事業・保健指導（栄養面） の直接的な住民サービス
	紫友みれい（元宝塚歌劇団雪組男役）	ダンス・ストレッチプログラムによる住民向けサービス

スマートバンドによるセルフモニタリング実証



オンラインで保健指導について（VIVEO Health）

《概要》

カラダ・デザイン フォローアップクラス終了後に、健康維持と管理のために、保健師（大阪大学）または管理栄養士（栄養ケアチーム豊能）による、オンラインでの保健指導と健康相談を実施します。

特にお悩みがない方も、月1回、オンラインによる近況報告をお願いします。

期間：2021年12月中旬～2022年3月末

対象：カラダ・デザイン フォローアップクラスを修了された皆さま

使用イメージ：Viveo（オンライン診断サービス）

皆さまのスマートフォン画面

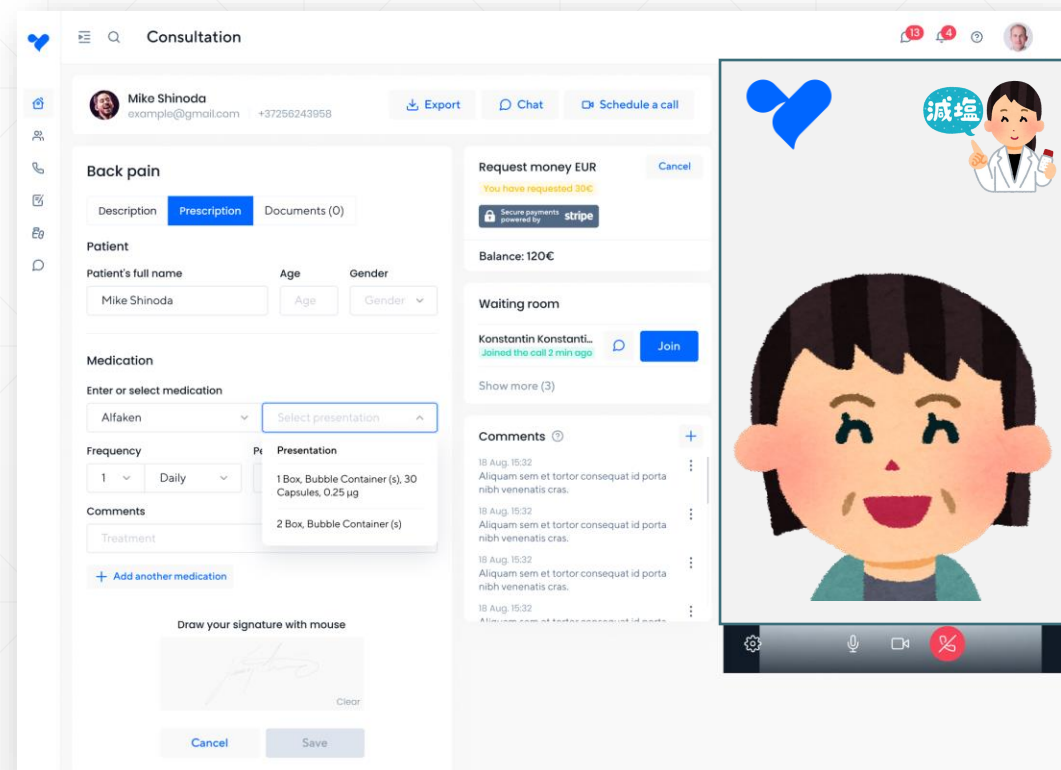


VIVEO



end-to-end
ビデオコール
チャット
暗号化

保健師・管理栄養士のPC画面



Viveoとは？

企業概要

企業名：Viveo Health OÜ

北欧エストニア発のオンライン診療サービス企業。

現状バルト三国を始め、インド、メキシコ等グローバル展開中。



VIVEO



速い



簡単



安全

厳しいデータセキュリティ
法および基準等準拠





ビューティヘルスラボ Maria

2022年度からの スマートシティ 社会実装

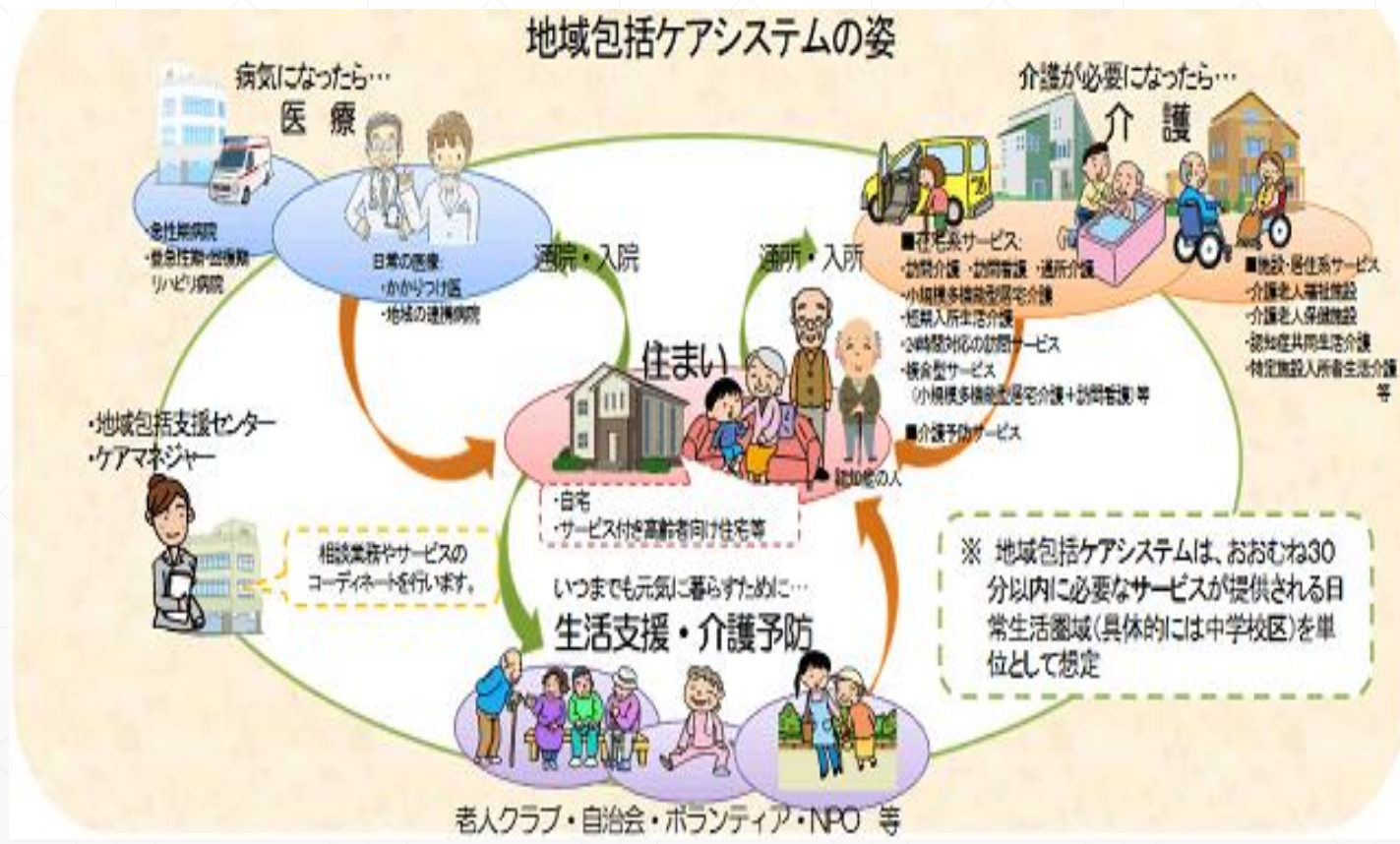


若い世代も含めた地域包括ケアシステムの構築イメージ

子育て世代包括ケアシステム

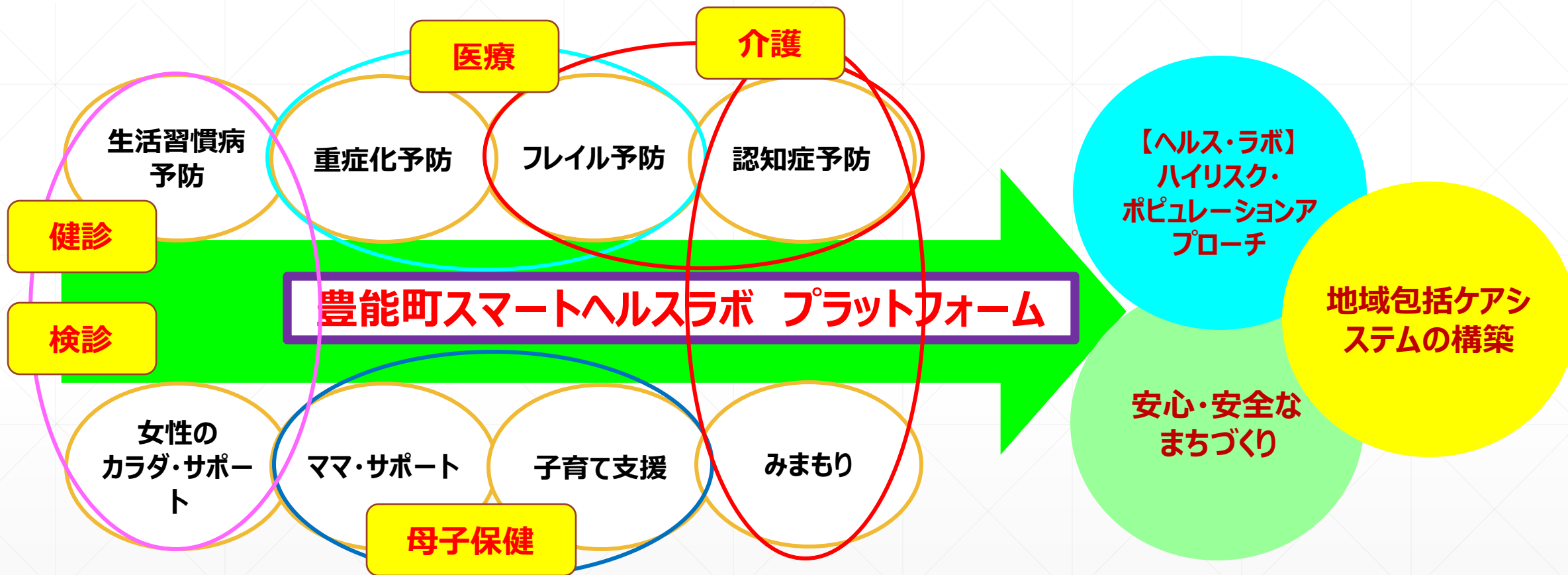


★ 2025年を目途に、高齢者の尊厳の保持と自立生活の支援の目的のもとで、可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、地域の包括的な支援・サービス提供体制（地域包括ケアシステム）の構築を推進。





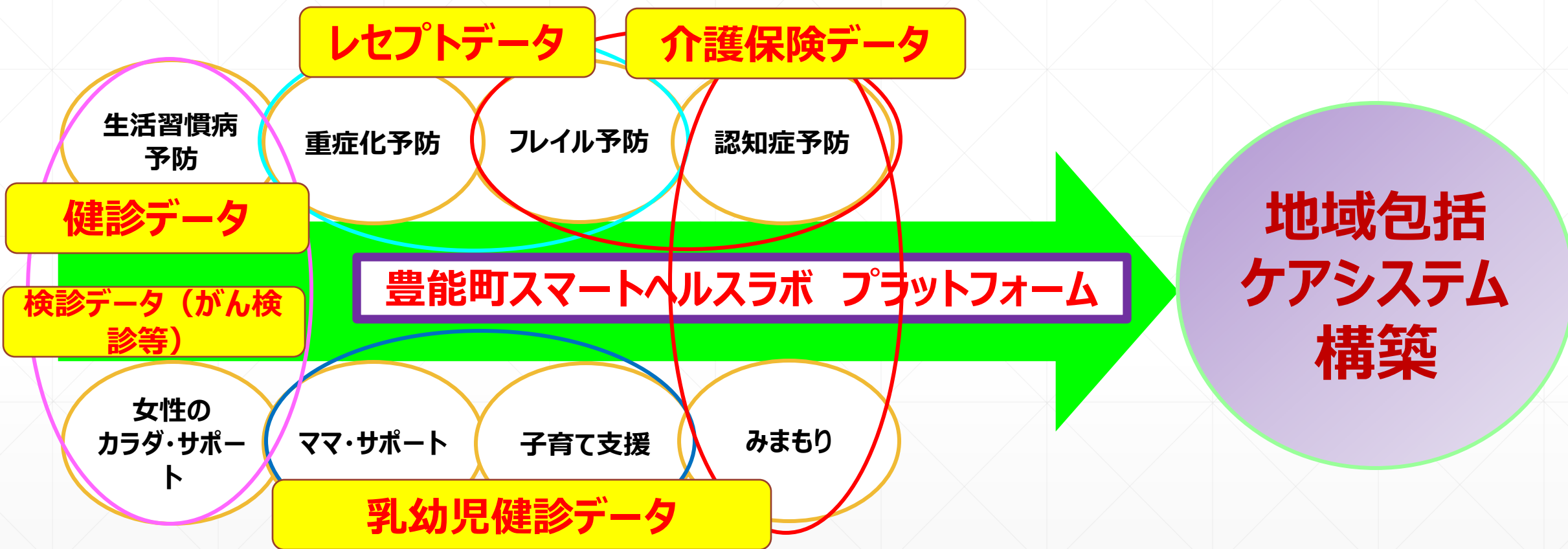
公衆衛生理念に基づく ゼロ次予防から3次予防まで



ゆりかごから墓場まで
持続可能なスマートヘルスラボの構築へ



公衆衛生理念に基づく データ連携



ゆりかごから墓場まで
持続可能なスマートヘルスラボ・データ連携の構築へ



<参考> コロナ禍での産官学連携による保健事業のポイント

- ① AI・ICTを活用した保健事業を構築することで、対面と非対面をうまく組み合わせ合わせた保健事業により、効果的・効率的な保健事業を実施すること。
- ② 医療経済効果額（費用対効果）を算出することで、事業の成果指標の1つとすること（KPI設定）。
- ③ 事業には医学的根拠（阪大の解析等）に基づいた、生活実態に即した科学的保健指導を導入し、成果を生み出すこと。
- ④ これらを実現するためには、自治体単独では不可能であり、【産官学連携】によりこれらを、実現可能とする。
- ⑤ サステイナブルな事業構築のため現在の保健事業を【産官学連携】により、ブラッシュアップし、データ連携型スマートシティに組み込む



ご清聴

ありがとうございました。

